

## 第7回 南幌町総合計画策定審議会 ≪議事概要録≫

と き 平成26年3月27日(木)  
午後3時～午後4時30分  
ところ 南幌町役場2階 庁議室

### 【出席者】

委員 13名 ※欠席 鬼木委員、清水委員  
町 4名 三好町長  
[事務局] まちづくり課～ 原田課長、森主幹、黒島主査  
傍聴人 なし

### 1. 開 会 まちづくり課長

それでは、今回をもって最後となる南幌町総合計画策定審議会を開催致します。

本日の出席委員は13名でございます。鬼木委員、清水委員につきましては欠席ということで連絡をいただいております。それでは早速、藤本会長の方からご挨拶をお願い致します。

### 2. 挨 拶 藤本会長

みなさまご苦労様でございます。本年度、3月も終わりになる時期ですが、まだまだ寒い時期が続いております。

いよいよ今回をもって、最後の総合計画策定審議会を迎えたということで、みなさんのご協力をいただき感謝を申し上げます。

本日は、ミニワーキングのまとめと答申、町長との懇談も予定されていきますのでよろしくお願いします。

### まちづくり課長

ありがとうございます。それでは審議に入ります。

※以下、進行は藤本会長

### 3. 審議事項

#### (1) 総合計画後期基本計画の策定について

##### ・ミニワーキングのまとめ

### 事務局

別紙資料の説明(省略) ※資料: 1ページ～10ページ

### 会長

ただいま説明がありましたが、これまで2回にわたり審議会委員の中で意見交換を重ねてきましたが、そのまとめの内容について説明がありました。

何かご意見がございましたら出していただきたいと思います。

委員

2回分をまとめたということはわかるが、これらの意見を集約して、ひとつふたつの柱立て、肉付けしたものはつukらないのか。

また、内容では、PRとかアピールという視点が多いが、もう少し肉付けをした方が良くと思う。

会長

この「審議会からのメッセージ」は、総合計画の冊子に盛り込むものであり、第6期総合計画の策定に向けた委員からのメッセージということでご理解いただきたい。

まちづくり課長

名前を売っていく方法として、町では「まちづくり戦略チーム」をつくって検討していきたいと考えています。如何に南幌町をアピールしていくかということで、今年から検討していきたいと考えており、南幌独自のものをつくれないかということで設置を考えています。これは、短期、中期、長期という期間で検討し、このメッセージも参考にして職員で議論していきたいと考えています。

会長

12区の老人クラブは温泉で健康体操などの事業ができないか、あいくるに相談して実現した。何でも同条件で同じような事業を温泉で利用できるとは限らないと思うが、このように企画して調整できれば地域や高齢者で利用できることもあります。

委員

まちづくり戦略チームという話があったが、メンバーは職員だけなのか。

まちづくり課長

はい。まずは職員の中で検討していきたいと考えています。

委員

まちづくり戦略だから、まずキャッチコピーをつくるべきだと思います。そのためには、プロの方をお願いする方が良くと思う。それだけお金をかけても価値があると考えます。

会長

私からは、防災対策の件で追加してもらいたい点がある。停電になった場合、電気がないと命に関わる事態になりかねない。特に冬がそうです。その場合、どのような対策が必要か、住民や地域はどうすれば良いか、町で検討をしていてもらいたいと要望します。

まちづくり課長

自主防災組織を設置するというのも重要なことであると思います。今後の検討課題になると思います。

委員 町では、防災の備蓄はしているのでしょうか。

まちづくり課長 計画的に防災の備蓄はしております。

事務局 それでは、ご意見のありました2件を追加させていただくことを提案させていただきます。

1点目は、経費をかけてでもプロの方にキャッチコピーをつくることを検討するという事。そして2点目は、防災対策の関係で停電対策も検討していくことです。みなさんがよろしければ、追加事項の文言は事務局に任せていただいて、2点を追加するという事で如何でしょうか。

(はいの声)

会長 それでは、2点についてはメッセージに加えるということでよろしく願いします。他にございませんか。

(意見等なし)

会長 なければ次に入ってよろしいですか。

(はいの声)

## (2) 答申(案)について

事務局 別紙資料の説明(省略) ※資料: 11ページ~13ページ

会長 ただいま説明がありましたが、この内容でよろしいでしょうか。

(意見等なし)

会長 なければ、次に町長への答申に入らせていただきます。  
みなさん、この会議室から町長室に移動してください。

※全出席委員、町長室に移動

## 4. 町長への答申

会長より町長に答申書を手交する。

※庁議室に移動 ※町長出席

## 5. 町長との懇談

町長 (委員のみなさんにお礼を述べる。)

会長 防災対策について、水害の場合、夕張太は避難所まで遠いことから足の確保の対策を検討してほしい。

町長 現在、町で検討しているところです。バスの利用もあるが、高規格道路や北広島市に避難するという事も併せて検討したいと考えています。

会長 高齢者対策が、これからますますいろいろと検討していかなければならなくなると思うが。

町長 元気なお年寄りが活動したり、いろいろとサポートしてもらったり、知恵やアイデアをいただいたりと期待している反面、まずは足の確保対策などが必要急務になると思います。デマンドバスなどの検討を引き続き進めていきたいと考えています。

委員 ふるさと納税があると聞いたが。

町長 これまでにもあるが、平成26年度から特産品をつけるなど工夫してやっていきたいと考えています。

委員 道央圏連絡道路は、どのような進み具合になっているのか。

町長 南6線から9線間は平成26年度に工事が入ります。それ以降は長沼側の用地買収に入る予定となっています。もう少し時間がかかる見込みとなっています。

委員 子どもたちの頑張りにもっと支援をしていただきたい。

町長 うちの町は子育て支援に力を入れているので、これまでと同様に取り組んでいきます。また、平成26年度から中学生国際留学プログラム事業が始まり、やる気のある子ども達をこれまで以上に支援していきたいと考えています。

会長

それでは、そろそろ時間がきましたので町長との懇談は終了したいと思います。町長、ありがとうございました。

※町長退席

6. その他

事務局より説明（連絡事項）

- 今回と前回の報酬及び費用弁償については、4月4日に支払い予定となっています。
- これから総合計画後期基本計画の冊子作成作業に入ります。  
委員のみなさんを始め議員や各種委員等には、4月早々に配付をさせていただきます。なお、町民周知として広報5月号で策定完了のお知らせと「概要版」を折り込む予定でいます。
- （懇親会のお知らせ）

7. 閉 会  
会長

みなさん、長い間ありがとうございました。みなさんのおかげで私も何とか会長として審議を進めることができ感謝を申し上げます。

これからは、みなさん一人ひとりが、まちづくりに関わっていただければ幸いです。ありがとうございました。

まちづくり課長

それではこれで会議を終わらせていただきます。  
みなさん、これまでありがとうございました。

以 上

# 審議会からのメッセージ

平成26年3月

## 1. 町民や地域・団体・企業のまちづくりへの参加 など

- ・ 冬期間の長い南幌でのイベントとして、雪像コンクールなどを開催し、町民・団体・地域・企業が参加して、子どもたちに楽しんでもらう。賞品も含めてJ A・観光協会・企業協議会等の協賛があるとうれしい。
- ・ まちのイベントを盛り上げ、独自の企画を実行する「まちおこし隊」をつくりたい。
- ・ 困っている人がいて、何かを頼まれたり、アドバイスや様々な情報を提供したりするボランティア的な活動を行いたい。
- ・ 町が、予算500万円を用意して、町民団体等が開催するイベントに対して開催経費を支援する仕組みをつくってはどうか。
- ・ あまり考え過ぎずに、小さなことからコツコツと動く・・・というところから、まちづくりは始まると思います。
- ・ 新聞の空知版などに南幌町のことはあまり掲載されていない。何もないのか、それとも情報発信がヘタなのか。やはりインパクトのある情報でなければならぬが。
- ・ 話題をつくることは当然大事だが、ただ話題があればそれで良いとは限らない。
- ・ 米まつりはなくなりましたが、開催していた頃は他の町への自慢のお祭りであった。実行委員会の組織づくりは、それぞれ仕事を持っていることから非常に難しいとは思いますが、何か町外に向けてアピールできるイベントがほしい。
- ・ 何を進めるにもまとめ役がいないので、そういう地域リーダーが必要。
- ・ ボランティアを募集してみてもどうか。確かに簡単なことではないが。昔は、農家の方が積極的に関わってくれたが、やはり経営が大規模化してきたこともあり、みんな生活することで一杯だと思えます。それでもまちづくりには、担い手だったり、ボランティアが少ない。まずやれることから、やれる人が集まって、それから人集めということが一番良いと思う。

## 2. 農業の推進、農産物のブランド化、地産地消 など

- ・ ピュアホワイトを含む南幌ブランドの情報発信と観光協会での統一した管理が必要だと思います。
- ・ 新減反政策に対応した飼料米の輪作体系の導入を進めては。
- ・ 食の安全・安心を確保し、子孫に影響を与えない食料の維持確保が必要。
- ・ 小学生と生産者との農業体験(見学・収穫)などを実施したいが、計画的に実施できるように検討していただきたい。
- ・ 中学生や女子高校生を対象とした南幌産農産物の料理コンテストを開催してはどうか。例えば優勝した料理を南幌温泉などの飲食店で出したりすると良いのでは。過去にも同様のコンテストがあったようなので、やはり継続性がとても大事だと思います。
- ・ 6次産業という流れがあるが、生産者は生産する他に加工に手を出すだけの労働力はない。また、加工といっても、そのノウハウがない。例えば、とうもろこしでも生

産者側で加工することは非常に難しいので業者に製造を委託する方法しか今のところないと思います。

- ・ 朝市はあるが、町民対象のものであり、それよりも、町外の人を対象に大勢の人に売る方が良い。
- ・ 道央圏連絡道路の整備にあわせて、インターチェンジのところに農産物や特産品の売り場をつくって、南幌をどんどんアピールしてほしい。
- ・ 農業法人のPR、販売拠点の一本化。町民参画で法人の計画生産により通年での安全・安心な農産物の販売施設の整備が必要。
- ・ お土産としても南幌産の農産物を生かしたお菓子などがあると良い。
- ・ 農家では米を販売する袋として個々に印刷をしているが、例えば、南幌町のイメージキャラクターなどをつくって統一の袋を印刷してはどうか。
- ・ 道央圏連絡道路の整備の際は、必ず道の駅または大型の特産品販売の売り場を設けてもらいたい。農家として強く要望したい。

### **3. 企業等PR、工業・雇用環境づくり など**

- ・ 南幌町で働きたい、住みたいという声をもらうことが大変重要である。どんな町内企業があるのかを町民があまり知らないと思うので、町内企業のPRや町民との関わりを持つ機会をつくってみてはどうか。
- ・ 農業法人・立地企業のパートの需給に対応したタイムリーな情報システム（ホームページ等）の研究。学童保育を延長し子育て世代に安心して働ける街のイメージアップにより、団地販売、企業誘致につなげる方策となり得る。

### **4. 商工会、観光協会の活性化 など**

- ・ 商工会を中心に自ら企画提案するものに対する助成制度の導入。
- ・ 南幌町は元気がない。商工会に対する支援の強化や観光協会の支援体制の充実をした方がいいと思う。（金銭面や人的支援など）
- ・ 中央通り商店会でマルシェが開催されているが、とても頑張っていると思う。努力しているところが見受けられるので町民としても喜ばしい。
- ・ 個店でなく対面販売施設の設置、南幌独自のおみやげ（ここにしかない）の創造。
- ・ スポーツ大会や各種行事など人が集まる時に、観光協会が中心となり商工会・JAなどの出店についても連携をとって進めてほしい。
- ・ 観光PRの時に、南幌産米と一緒にPRしてはどうか。
- ・ マスコットキャラクターとしてキャベッチくんがあるが、そろそろ新しいキャラクターをつくるためのコンテストとかをやってはどうか。
- ・ 町の活性化や町の積極的なPRがしたいという思いがある。今南幌にあるものを生かして利用することはできないか。例えば、ビューローの特産品売り場をもっと活用してはどうか。

### **5. 学校教育、生涯学習の推進 など**

- ・ 学校給食の地場産活用を推進し、農協を中心に農産物の安全・安心のPR。
- ・ 中学校のインターンシップは大変良い活動だと思う。もっとPRしても良い。
- ・ インターンシップの企業等体験を増やしては。また、体験企業の情報を町民・親に

提供することで理解が深められ、雇用の促進も図れるのではないか。

- ・ 生涯学習センターの整備では、現在の公民館と同じなら意味がないと思う。今よりも活発な活動ができる施設となり、イベントなど新たな事業が生まれるというような生涯学習を更に発展させる新たな活動に期待したい。
- ・ 児童館的なものは無理でも、生涯学習センターが整備されたら、利用時間を例えば午後7時までとするなど、町外で働く会社員や少年団活動などに入っていない子どもたちが利用できる施設としてもらいたい。
- ・ 生涯学習センターでは、多くの方が利用できる施設となることを期待しているが、例えば高齢者と子どもたちとの交流も盛んになるよう検討してもらいたい。
- ・ いろいろな意味で、生涯学習センターは情報発信拠点施設となってもらいたい。その核となる生涯学習推進本部の活動にも期待している。
- ・ 町民プールと生涯学習センターの整備が計画されているが、人口や交流人口を増やす事が重要と考えるので、付加価値をつけた有効活用ができる特色を持った施設にしてほしい。例えば生涯学習センターなら図書の充実や木のおもちゃが日本一だとか、プールなら競技が出来るプールにするとか、中途半端ではなかなか利用されないし、集客が図られないので建設経費をかけるなら思い切ってやってほしい。

## 6. 町立病院に通う足の確保 など

- ・ 町立病院は将来的に経営が厳しくなると思う。お客は病院を選択するので、近隣市町と連携して24時間対応できる病院の体制をつくり、急病な場合は救急搬送で対応する。また、将来的に貸し切り乗用車の運行など、町立病院による公共的な交通サービスを検討してほしい。

## 7. 福祉対策 など

- ・ 高齢者の生きがいづくりとして、何かを担わせてはどうか。いかに外に出させて活動させるかが重要だと思います。
- ・ 老人クラブの活性化のため受託事業の導入。軽作業で賃金を貰う仕組みが必要。
- ・ 声かけやゴミの分別支援、空き家の支援など、高齢者同士が支え合うきっかけづくりや元気な高齢者の生きがい対策として有償ボランティアなども検討してほしい。

## 8. 快適な住環境づくり、人口増加対策 など

- ・ 空き家の情報管理が必要。一人暮らし高齢者の季節的集積化の検討。
- ・ 南幌町の向かう方向性をしっかりと示し、人口を増やす施策を柱として若い世代が来もらえる対策を進めてほしい。子育ての施策（高校生通学費の助成・児童生徒等の医療費負担の軽減）などもすごく良いと思う。ただし、人を集めないと良いことも生かされない。札幌近郊で南幌町の地理的条件は良いと思います。例えば、南幌町に転入して来た人には温泉一年間無料パスポートを配るなど、広くPRや施策を大胆に行い、3年間で人口を増やすことを目標に積極的に取り組んでほしい。
- ・ 南幌町は快適そうな町だが、交通環境や病院などの面で、あまり便利な町ではない。車があると便利だが、車がないと生活しにくい。快適なまちづくりを進めてほしい。
- ・ 人口を増やすという部分では、まず住んでいる住民を喜ばせることが重要だと考えるので、イベントや行事なども良いものは実施してほしいし、もっといろんなことを



町内町外にどんどんPRしてほしい。

- ・ まちづくり戦略チームをつくるようだが、戦略の一番はキャッチコピーづくりだと思うので、お金がかかっても専門的なプロに依頼するべきではないか。それだけの価値はあると思います。

## 9. 防災対策 など

- ・ 町民に対し、避難場所の周知徹底を図るなど、丁寧な対応も必要だと思います。
- ・ 災害に強いまちづくりを推進するため、避難時の心構えのマニュアル作成が必要だと思います。また、災害時の停電は特に冬は命に関わることになる。災害時の停電対策を検討し、世帯向けに注意を促すような啓発をするべきではないか。

## 10. その他

- ・ 旧夕張太保育所の跡利用促進を望む。地域の振興に必要。
- ・ 農家の方々に協力してもらい、一緒になって町のPR活動をしたりということも必要だと思う。また、中央通りを歩行者天国にするというのも良い。ビューローの展望室に喫茶店をつくるということだって良いと思う。
- ・ 南幌町に道の駅をつくってもらいたい。例えば、そこに定期的にキャベッチくんが出迎えるなどのアイデアがほしい。あるいは、キャベッチくんを使ったPR用の町の紹介動画をつくってもインパクトがあると思う。あるいは、キャベッチくんの仲間のマスコットをつくってみたり、市街地をパレードするというのもアイデアだと思う。キャベッチくんのイメージソングをつくったり・・・などなど。南幌町のイメージアップや売りになるものをどんどんアピールしてほしい。

